

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農村環境課長 青野 正 (課長補佐兼田園環境係長 新見 明)	内線	3931 (4028)
------	-------	---------------------	--------------------------------------	----	----------------

事業種目	総合整備 (田園空間)	事業名	事業区間	総事業費	約9.5億円
		田園空間整備事業	いなみ野ため池 ミュージアム (稲美サイト)	内用地補償費	- 億円

所在地	着工予定年度	完成予定年度
加古郡稲美町	H15	H19

事業の目的	事業内容
<p>稲美町の「ため池群」(多くのため池とこれらを結ぶ水路網)は、全国屈指の高い密度であり、地域の農業及び生活に重要な役割を果たしている。</p> <p>本「いなみ野ため池ミュージアム(稲美サイト)」事業は、この「ため池群」やこれと一体となった自然環境、また関わりある歴史・文化などの有形無形の地域資源を見直し、地域住民が主体となってこれらを保全・展示する田園空間博物館(エコミュージアム)づくりを推進し、美しく魅力ある地域づくりを図るものである。</p> <p>なお、東播磨3市2町が進める「地域全体が水辺を主役とした博物館となる新しいふるさとづくり」である「いなみ野ため池ミュージアム」構想を先導する事業である。</p> <p>実施主体：稲美町</p>	<p>1 展示物の保全・復元整備 (14箇所)</p> <p>石積み水路等の整備 5箇所 L = 1.3km [国：50%、県：15%、町・地元：35%] ため池整備(親水施設整備・緑化) 7箇所 [国：50%、県：3%、町・地元：47%] 景観保全整備(歴史施設周辺整備) 2箇所 [国：50%、県：3%、町・地元：47%]</p> <p>2 田園散策の道の整備</p> <p>9路線 L = 11.5km [国：50%、県：3~15%、町・地元：47~35%]</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>稲美町は、各種の基盤整備が進み生産性の高い農業や便利な生活環境が実現されている。さらに個性的で魅力ある地域とするため、この地域の財産であるため池を中心とした水辺空間や歴史的水路等を活かし、美しい田園空間の創造と交流拡大等による地域の活性化が望まれている。</p> <p>また、地域住民の参画による田園空間整備計画づくりが進められており、県民みんなのため池として住民も含めたため池の管理や、ため池等を舞台とした都市住民との交流の拡大が図られて、多くの交流イベント(ため池ウォーキング、自然観察会等)もすでに開催されている。</p> <p>この取り組みを通じて本地域のさらなる活性化を図るため、本事業の速やかな実施が必要である。</p>
(2)有効性・効率性	<p>本事業の実施により交流の拡大や地域づくりが促進されるとともに、住民参加によるため池などの農業水利施設の維持管理が実現される。</p> <p>また、将来の住民主体の博物館運営を前提に、計画段階から住民の参画の下に事業の推進が図られており、地元の協力体制も整っている。</p> <p>なお、農業生産向上効果、農業経営向上効果、生活環境整備効果などを含めた投資効率は2.97であり、事業効果は十分期待できる。</p>
(3)環境適合性	<p>自然石や自然木を利用した水路整備、マサ土舗装による散策道整備、自然木の栈橋や案内板など、地域の優れた景観や豊かな生態系の保全を優先して計画している。</p>
(4)優先性	<p>本事業は、ひょうご農林水産ビジョン2010に示す先導的モデル事業(エコミュージアム構想)に該当するものであり、東播磨県民局の重要施策としても位置づけられている。また多くのイベント実施に見られるよう地域の期待が大きく、本事業を優先的に実施する必要がある。</p>